

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>① コミュニティスペースうちとこ 子育てに関わる人、子育てに関心のある人などの居場所作りをしている。火曜から金曜 10 時から 14 時まで。子育て講座以外でも「おかねのべんきょうかい」「栄養講座」「コミュニケーション講座」など開催。 Mitemite というイベントでは、子育て中の保護者が社会に一步参加できるよう小さなマルシェなどを開催してもらっている。</p> <p>② 毎朝インスタライブ 毎朝(休日なし)9 時 30 分から SNS(インスタグラム)で、子育て相談、栄養相談等受付をしている。オンライン上での居場所作りをしており、行政や一般の相談窓口では相談できないことが匿名でオンタイムで対応できる。インスタグラムのアカウント @tocotocolabo</p> <p>③ ブログ開設 居場所まで来れる人、インスタグラムをしている人は参加できるが、その手段がないご家族に向けてブログで子育てについて書いて配信している。ほぼ毎日。https://ameblo.jp/npo-tocotoco/</p> <p>子育てにまつわる仕事をしている人は、保育士や教員だけでなく、地域で子育てをしてきた主婦でもあると考え、「プロの素人集団」ということで幅広いメンバーで開催している。元児童相談所ケースワーカーも在籍するため、重篤な子育ての悩みを抱える家族は関係機関とも連携しながら見守ることができる。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>コロナ渦での子育ての不安について、生の声をダイレクトに受け取ることができており、それを「コミュニティスペースうちとこ」で具現化することができている。初めはオンラインのみでの参加でも、参加者がどんどん「コミュニティスペースうちとこ」へ参加する姿が見られ、また「久しぶりに子どもの笑顔を見ることができた」「怒鳴ることが減った」「しんどくても来ていいと言ってもらえ安心して来ることができた」「うちとこにどんなスタッフがどんな感じで待っているのかがオンラインで先に見えるため安心できた」などの声をきいている。</p> <p>また、児童相談所からも「保護者が行政職員には相談をしたくないと言われたので」と当チームの存在を伝えてもらったと聞いている。行政では対応しきれない隙間の支援が可能であるのではと考えており、今後の取り組みについてはより行政との連携も踏まえ積極的に取り組んでいきたい。</p>

<p>⑤活動財源</p>	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)
	<input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施
	<input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施
	(正会員、賛助会員の会費及び寄付金)